

年間授業計画 令和4年度 教科(情報) 科目(社会と情報)

教科:(情報)科目:(社会と情報) 対象:(第2学年) 単位数:(2単位)

教科担当者: 小林 翠 (☎)

使用教科書: 日本文教出版 新・見てわかる社会と情報

使用教材: なし

指導内容 【年間授業計画】	科目社会と情報の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月 コンピュータを使ってみよう	情報機器の特徴と働きについて理解する。 情報機器の基本操作を確認する。		3
5月 文書処理ソフトウェアの使い方	文書処理ソフトウェアの基本操作を確認し、基本的な文書の構成と設定方法を習得する。	出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。 ポイントとして、情報機器、情報技術に関する知識を理解し基本的な技能を修得しているか、情報の活用方法を工夫したり、目的に応じて適切に表現したりすることができるかについて評価する。 文書の作成に個人差が生じるので、個々にあった文書を作成させる。	6
5月 情報を活用しよう	自らの情報活用能力を高めようとする態度を習得する。		3
6月 情報モラルを身につけよう	情報機器を利用する上で、必要なルールやマナーなどを理解する。 情報を発信するときに必要な送り手としての責任を理解する。		3
7月 文書処理ソフトウェアの使い方	さまざまな文章の作成や図形の取り込みなどを体験させ、技能の習得と理解を図る。	出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。 ポイントとして、情報機器、情報技術に関する知識を理解し基本的な技能を修得しているか、情報の活用方法を工夫したり、目的に応じて適切に表現したりすることができるかについて評価する。 文書の作成に個人差が生じるので、個々にあった文書を作成させる。	6
7月 情報社会における法と個人の責任	情報や権利を保護することの必要性とそのための法律・個人の責任について理解する。		3
9月 文書処理ソフトウェアの発展的な使い方	視覚的に訴えるチラシやポスターなどの作成方法を習得する。	出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。 ポイントとして、情報機器、情報技術に関する知識を理解し基本的な技能を修得しているか、情報の活用方法を工夫したり、目的に応じて適切に表現したりすることができるかについて評価する。 処理に個人差が生じるので、個々にあった文書を作成させる。	8
10月 問題解決をしてみよう	問題を解決する手順と方法を理解する。	出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。 ポイントとして、情報機器、情報技術に関する知識を理解し基本的な技能を修得しているか、情報の活用方法を工夫したり、目的に応じて適切に表現したりすることができるかについて評価する。 処理に個人差が生じるので、個々にあった文書を作成させる。	3
10月 表計算ソフトウェアの使い方	表計算ソフトウェアの基本操作を確認し、基本的な関数を理解する。		3
11月 データを分析してみよう	表計算ソフトウェアのを活用した情報の分析方法を習得する。		2
12月 表計算ソフトウェアの発展的な使い方	見やすい表の作成方法を習得する。 効果的なグラフの作成方法を習得する。	出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。 ポイントとして、情報機器、情報技術に関する知識を理解し基本的な技能を修得しているか、情報の活用方法を工夫したり、目的に応じて適切に表現したりすることができるかについて評価する。 処理に個人差が生じるので、個々にあった文書を作成させる。	6
12月 情報をわかりやすく伝えよう	効果的に情報を伝えるために発信の手順や方法を習得する。		2
1月 情報化が社会に及ぼす影響と課題	情報化が社会に及ぼす影響と課題を理解する。 望ましい情報社会のあり方と情報技術を適切に活用することの必要性を理解する。		3
2月 プレゼンテーションソフトウェアの使い方	プレゼンテーションソフトウェアの基本操作を確認し、情報をわかりやすく伝達する方法を習得する。 効果的なプレゼン資料の作成方法を習得する。	出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。 ポイントとして、情報機器、情報技術に関する知識を理解し基本的な技能を修得しているか、情報の活用方法を工夫したり、目的に応じて適切に表現したりすることができるかについて評価する。 処理に個人差が生じるので、個々にあった文書を作成させる。	10
3月 情報セキュリティの確保	情報セキュリティを高めるためのさまざまな方法を理解する。		3
3月 まとめ	1年間のまとめとして、習得した技能や知識の確認をし、さらなる理解を深める。		2

年間授業計画 令和4年度 教科(情報) 科目(情報の科学)
 教科:(情報)科目:(情報の科学) 対象:(第3学年) 単位数:(2単位)
 教科担当者: 小林 翠 (@)
 使用教科書: 東京書籍 情報の科学
 使用教材: なし

指導内容 【年間授業計画】	科目情報の科学の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月 コンピュータの仕組みと働き	コンピュータにおける情報のあらし方を理解し、情報の処理を実践する。	出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。ポイントとして、情報機器、情報技術に関する知識を理解し基本的な技能を修得しているか、情報の活用方法を工夫したり、目的に応じて適切に表現したりすることができるかについて評価する。	12
5月			
6月 画像と音の表現 文書処理ソフトウェアの使い方 (検定対策)	コンピュータにおける画像や音の操作の基本を身につける。 諸活動の中で文章情報の重要性を理解させ、文書作成ソフトを使用して文書作成の基本を理解させる。	出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。ポイントとして、情報機器、情報技術に関する知識を理解し基本的な技能を修得しているか、情報の活用方法を工夫したり、目的に応じて適切に表現したりすることができるかについて評価する。	14
7月			
9月 データベース	データベースの知識を身につけて情報検索を実践する。	出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。ポイントとして、情報機器、情報技術に関する知識を理解し基本的な技能を修得しているか、情報の活用方法を工夫したり、目的に応じて適切に表現したりすることができるかについて評価する。	8
10月 データベース	データベースの知識を身につけて情報検索を実践する。	出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。ポイントとして、情報機器、情報技術に関する知識を理解し基本的な技能を修得しているか、情報の活用方法を工夫したり、目的に応じて適切に表現したりすることができるかについて評価する。	8
11月 問題解決とコンピュータの活用 文書処理ソフトウェアの使い方 (検定対策)	問題解決の手段と手法を理解する。 モデル化の考え方について理解する。 諸活動の中で文章情報の重要性を理解させ、文書作成ソフトを使用して文書作成の基本を理解させる。	出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。ポイントとして、情報機器、情報技術に関する知識を理解し基本的な技能を修得しているか、情報の活用方法を工夫したり、目的に応じて適切に表現したりすることができるかについて評価する。	18
12月			
1月 情報社会の科学的な理解	身近な生活の中の情報化の発展について理解する。 情報セキュリティについて理解する。	出席日数、関心・意欲・態度、思考・判断、技能、知識・理解を総合的に見て評価する。ポイントとして、情報機器、情報技術に関する知識を理解し基本的な技能を修得しているか、情報の活用方法を工夫したり、目的に応じて適切に表現したりすることができるかについて評価する。	10
2月			
3月			